

韓国ジャパンリポーター訪日団（第1団）招へい事業の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】日韓関係の改善を基盤とした訪日プログラムの一環として、在韓日本大使館で韓国全土から選抜された大学生以上の若手インフルエンサー等を招へいし、各種視察、同世代交流、テーマに沿った講義聴講等を通じて、日本に対する理解を深めると共に、韓国でまだあまり知られていない日本の新たな魅力を発信することで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】韓国の若手インフルエンサー（団長1名、引率1名を含む）合計37名

【訪問地】東京都、埼玉県、宮城県、大阪府

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習事）：

7月2日（火曜日）オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

■ 招へいプログラム：

7月9日（火曜日）羽田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

【表敬・講義】外務省、「新しい日韓関係について」

7月10日（水曜日）終日、JKAF（大学生訪韓団同窓組織）の若者との交流・視察プログラム

【視察・講義】高麗神社、「高麗神社と日韓交流1300年」

【視察】李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク

7月11日（木曜日）宮城県仙台市へ移動

【表敬・講義】宮城県庁、「東日本大震災からの復旧・復興の検証・伝承等について」

7月12日（金曜日）石巻市へ移動し、終日、石巻専修大学学生との交流・視察ワークショップ

【講義・視察・交流】『「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを学ぶ～震災復興後のまちづくり状況』聴講及び該当地域をフィールドワーク、南三陸町へ移動

7月13日（土曜日）【視察】語り部バスで南三陸地域の被害と復興状況視察、震災伝承施設「南三陸311メモリアル」、復興商店街「南三陸さんさん商店街」

【講義】ホームステイ地域である南三陸・登米の概要について

【交流】ホームステイ対面式、ホームステイへ

7月14日（日曜日）【交流】終日ホームステイ

7月15日（月曜日・祝日）ホームステイより再集合、大阪府へ移動

【企業訪問・講義】日経MJ賞最優秀賞受賞「SEKAI HOTEL 株式会社」、「まちごとホテル」で地域商店街活性化

7月16日（火曜日）【視察・交流】講義に沿った視察・グループ別商店街取材及び地元の方々と交流、取材内容発表及び成果報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

7月17日（水曜日）関西国際空港から出国

2. 記録写真



2024年7月9日【表敬・講義】外務省、「新しい日韓関係について」



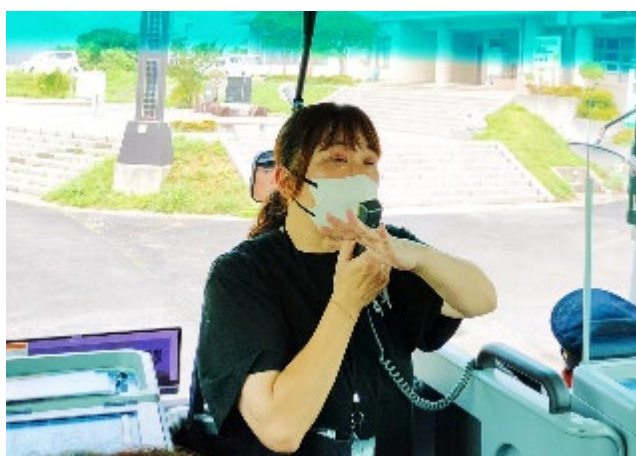
2024年7月10日【視察・交流】高麗神社（JKAF（大学生訪韓団同窓組織）の若者と共に）



2024年7月11日【表敬・講義】宮城県庁、「東日本大震災からの復旧・復興の検証・伝承等について」



2024年7月12日【視察・交流】『「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを学ぶ～震災復興後のまちづくり状況』（石巻専修大学学生と共に）



2024年7月13日【視察】語り部バスで南三陸地域の被害と復興状況視察



2024年7月14日【交流】南三陸地域でのホームステイの様子（ホストファミリーと郷土菓子作り）

	
2024 年 7 月 15 日【交流】ホームステイ解散式の様子	2024 年 7 月 16 日【視察・交流】「まちごとホテル」地域商店街の視察及び地元の人々との交流

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学生

今回の訪日は、新しい経験の連続で、大変新鮮でした。中でも印象に残ったのは、石巻専修大学の皆さんと共にした石巻でのプログラムです。東日本大震災の痛みに共感することができ、震災から 13 年経った今の姿を直接視察することもでき、その上で、石巻の更なる発展のためにどうすればよいか、改善点は何か等を日韓両国の若者が意見交換し、共有できたことは、非常に意義深い日韓交流の場になりました。

◆ 韓国 大学生

観光地に行かず、韓国の人に馴染みのない地域ばかりだったのが良かったです。特に、石巻での震災後の復興及び旧市街地を一体とした地域活性化対策と、大阪での「まちごとホテル」を活かした商店街活性化対策は、いずれも初めて接する情報で大変ユニークで大いに参考になりました。韓国でも応用できるかどうか、帰国後に早速調査してみようと思います。

◆ 韓国 大学生

ホームステイが一番印象に残っています。私たちのために、翻訳機まで購入してくださり、嫌な顔を全くされずに、朝から晩まで私たちのために 1 つでも多くのことを体験させようと思ってくださる姿に、大きな愛情を感じましたし、心から感謝しています。亡くなった祖母に再会できたような思いにもなり、今回の体験は生涯忘れられない大切な思い出になると思いますし、私たちのような関係の積み重ねにより、日韓関係もより近くなることを願っています。

◆ 韓国 社会人

ニュースでしか見たことのなかった東日本大震災、中でも一番被害が多かった地域が宮城県であることを初めて知りました。測り知れない痛みと苦しみの中にあっても、地域の復興と大災害の伝承のために努力されている様子や、石巻や南三陸の復興の様子を目の当たりにして、驚くと共に、地域の皆さんに対しては尊敬の念を抱きました。私たちの日常がいかに貴重なものであるか、気づくことができましたし、宮城の皆さんと想いを共にして、大災害の伝承についても韓国で多くの人に伝えたいです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 高麗神社関係者

今回の若者たちは真面目かつ素直で、講義する際にも非常に話しやすく、反応も良かったです。今の韓国の若者の反応を見ると本当に隔世の感があります。お守りを買って求める等、日本の文化を素直に受け止め、柔軟に受け入れている若者を見ると、こちらにも嬉しくなります。こうした変化も、韓国の変化が要因かもしれませんが、これまで地道に交流を進めてきた団体、個人の努力の結晶だと思います。

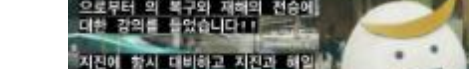
◆ 株式会社街づくりまんぼう（石巻講義・視察プログラム協力機関）関係者

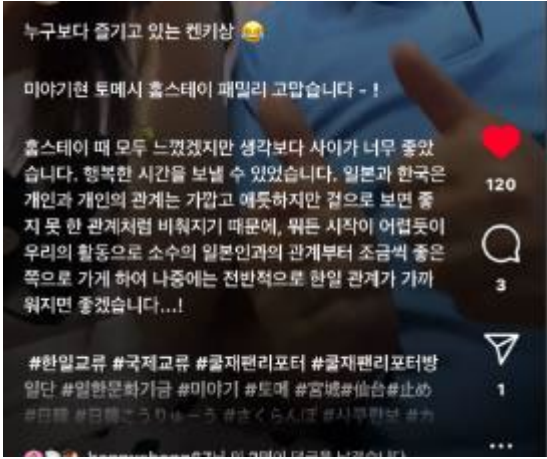
「韓国ジャパンリーダー訪日団」団員の皆さんは、明るく勉強熱心な素晴らしい方々ばかりで、私たちもすごく元気をいただいて、とても新鮮な気持ちになりました。また、石巻専修大学の学生の皆さんとの若者同士の交流が生まれて、未来の明るい日韓友好関係が垣間見られたようでした。この度は、視察先に石巻を選んでいただき本当にありがとうございました。

◆ 石巻専修大学関係者

石巻の街歩きワークショップをこれまで実施してきましたが、今回は、訪日団の皆さんが積極的に参加してくれたおかげで今まで以上に充実した会となりました。当方の学生もInstagram等で連絡を取り合っていますと嬉しそうに報告してくれました。ワークショップでの発表内容も石巻の街にとって大変貴重な意見になりました。街づくりに関わる人たちと共有し、アクションに繋げていこうと思います。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 일본의무실 한국대사관에서 10년 이상 일하신 전문가 분의 세미나였습니다。현재의 한일관계의 상황과 앞으로의 논점에 대해 설명해주셨습니다。특히, 비슷한 사회 문제(저출산, 고령화 등)를 갖고 있는 두 나라가 어떻게 서로 교류하며 해결하려 노력해왔는지를 알 수 있었습니다。또, 한일 교류의 중요한 인물이신 이수현 씨에 대한 발표를 들었습니다。2001년, 신오쿠보역에서 선로에 떨어진 일본인을 구하기 위해 방살된 일이 내려가신 분이십니다。이 사건은 한국, 일본 양 나라에게 충격과 갈등을 주었습니다。3・4일차에는 실제로 신오쿠보역에 이수현 씨를 기리는 비에 갔게정합니다。	 신간선을 타고 도쿄・센다이 미야기현에 방문해 동일본대지진으로부터의 복구와 재회의 전승에 대한 감회를 표현했습니다！！ 지진이 발생 대비하고 지진과 해일에 대비해 더 강한 지역을 만들기 위해 계속해서 노력하고 있다고해요。 여러 부를 상향과 노력들을 깊이 있게 알 수 있는 시간을 가지 더듬미야기현의 사람들이 더더해보이고 존경스러워 보였습니다！！ 한국이든 일본이든 살아보면 이런 자연재해에 곤란한 상황이 생기기 마련인데 13년이나 된 지진이후에도 계속해서 복구에 힘쓰고 있다는 사실이 존경스러웠습니다！！ 여러분들도 일본의 센다이・미야기현에 방문해서 직접 보시고 느껴졌으면 좋겠어요！！ 기회되시면 미야기현 여행은 어떠까요?? 센다이・미야기에 오신 것을 환영합니다 24.07.11 DAY 3
2024 年 7 月 9 日 (blog) 在韓日本公館で長年勤務された専門家の方から日韓関係についての講義を聴いた。特に、類似した社会的課題(少子高齢化等)を持っている日韓両国の交流の歩みや、様々な案件について解決しようと努力してきた様子を知ることができた。また、日韓交流において重要な人物である李秀賢さんについて	2024 年 7 月 11 日 (Instagram) 新幹線に乗って東京から仙台へ。宮城県庁を表敬訪問し、東日本大震災からの復興と伝承についての講義を聴きました。 大震災と津波へ常に備えており、災害により強い地域づくりのために絶え間なく努力されている様子や、様々な復興のために尽力されている様子を

てのお話もあった。2001年に新大久保駅で人命救助のため線路に飛び降りた方で、日韓両国に衝撃と感動を与えた。今回の訪日団期間中に新大久保駅構内にある彼の顕彰・追悼碑を訪問する予定だ。	深く知ることができ、宮城県の皆さんは本当に素晴らしいと思いましたし、尊敬します。皆さんも、この機会に宮城への旅はいかがでしょう。是非訪れて直接体験してみてください。
	
2024年7月14日（Instagram） 宮城県登米市のホストファミリーの皆さん、ありがとうございます！思ったよりずっと仲良くなれ、幸せな時間を過ごすことができました。日本と韓国は個人と個人の関係は近くなれるのに、表面きは良好でない関係のように映ってしまいが、私たちの活動で少しずつでも日本の皆さんと良い関係を築き近づいていき、やがては日韓関係が全般的に近い関係になれば良いと思います。	2024年7月31日（朝鮮日報 WEB 版：本訪日団参加者による記事） 『2泊3日で家族になった「次は必ず韓国で会おう」涙の海となった韓国の大学生田舎体験記』と題して、宮城県南三陸町と登米市でのホームステイについて、東日本大震災にも触れながら、詳しく紹介。合わせて、日本国内の農漁村における地域活性化のために国内外からホームステイを積極的に誘致する取組についても紹介している。
	
2024年7月13日（石巻かほく） 「韓国の若者たち石巻巡る、被災地 SNS で発信、街の魅力課題探り交流」と題して、石巻専修大学の学生と交流しながら石巻の街づくり視察とワークショップの様子を詳しく紹介。	2024年7月14日（埼玉新聞） 「インフルエンサー歴史学ぶ、日高高麗神社、日韓文化交流事業で」と題して、JKAF（大学生訪韓同窓組織）の若者と高麗神社視察の様子と、高麗宮司の講義について詳しく紹介。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（概要または抜粋を記載する）

이번 활동을 통해 <Keywords> 1. 동일본 대지진에 대한 이해와 공유 2. 지방 활성화 아이디어 3. 깊이 있는 한일 문화 교류 장기 플랜 기획 1. <분석 및 연구> 「지역력을 활용한 지역 활성화」 사례 분석을 통해 한국 도입 대책 제시 2. <봉사활동> 「한일국제문화비행」 등 관련 분야 관련 봉사 및 행사 참여 3. <일본 콘텐츠> - 일본 드라마, 음악, 영화 등 콘텐츠에 대한 지속적인 관심 갖기 - 일본 관련 기사 스크랩하기	
【成果の発表】 ・ 今回の成果を3つのキーワードでまとめると「東日本大震災への理解と共有」「地方活性化のアイディアの学び」「深みのある日韓交流」に集約できる。 ・ これらの学びを、専門家の講義・現地視察・現地の方々との交流等を通じて、深く学べたことは大きな財産となり、有意義であった。 ・ 今や韓国でも体で感じる地震が増えており、自然災害も年々増えているため、東日本大震災からの学びは他人事ではなく、日頃から備える重要性について発信していきたいし、地方活性化についてはユニークなアイディアが多く、韓国でも適用できるかどうか等シミュレーションしてみたい。 【アクション・プラン】 ・ 今回学んだ日本の様々な政策や対策について分析及び研究をし、韓国にも導入できるかどうかについて、提示していきたい。 ・ より深い日韓関係を築けるよう、「日韓交流おまつり」等をはじめとする日韓関連のイベントに周りを誘って積極的に参加し、ボランティア活動を通じて貢献していきたい。 ・ 今回学んだ内容を様々な切り口で SNS 等を通じて積極的に発信していきたい。	【成果の発表】 ・ 今回の日程の中でも印象的だったのは、初めて訪れる宮城県石巻での視察と交流、南三陸と登米でのホームステイで、全てが新鮮で、多くの方々との出会いを通じて大きな学びとなった。 ・ 中でも、石巻の地域活性化のために、地元の大学の学生が企画して参加していたり、都市部から若い移住してきた方々が貢献していたり、クラウドファンディングで資金を集めていたり、クラフトビールを新たに始めたりと、その中心には若者が多くいたことに驚き、大変参考になった。 ・ 今回の訪日での経験や学びを活かし、韓国の地方活性化のために私たち若者が何ができるか等について考えていきたい。 【アクション・プラン】 ・ 短期的なアクション・プラン：今回の学びをインスタグラム、YouTube、ブログ等で、毎週何かしらの形で発信していく。 ・ 長期的なアクション・プラン：宮城県等、韓国人があまり行かない地域について、各方面と協力して広報していくことを目標としたい（可能であれば、日本の観光庁や宮城県の韓国事務所、旅行社等）

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金